

海老名秋田県人会 会報



第17号
令和4年
9月8日
発行

会員85名
(8/21現在)

海老名
秋田県人会
046-231-0072



海老名秋田県人会
会長 藤田 富雄

「鍋っこ遠足」中止のお知らせと 来年度に向けてお願い

長引く新型コロナウイルス禍の中、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。3年にも及ぶ新型コロナウイルスの波状攻撃の中、皆様におかれましては様々な苦勞をして感染を防いでいるものとお察しいたします。

秋田県人會も3年間行事の自粛を余儀なくされ、誠に申し訳なくお詫びいたします。

2022年度総会資料にも載せましたが、今年の秋の鍋っこ遠足は状況が許せば是非開催したいと役員一同実行に向け準備作業に取り掛かった矢先、ご存じのとおり新型コロナウイルスによる第7波の襲来で参加する会員の皆様の健康、安全を最優先に考え、断腸の思いで中止することにいたしました。毎回楽しみにしていた皆様にお詫び申し上げますが、誠に残念ではありますが事情ご賢察のうえご理解いただきたくお願い申し上げます。

特に総会、懇親会は令和2年度に設立10周年記念行事を行う予定でしたが、コロナ禍のため延び延びになっておりました。来年度に3年遅れの10周年記念行事を盛大に行う予定でありますので、是非期待していただき御参加をお願い申し上げます。

行事の内容などまだ白紙の状態ですがこれから役員会などで提案、議論していく予定です。

この10年間ほぼ同じ内容で実行してまいりましたがマナー化している面もあろうかと思えます。県人会活動は会員の皆様に楽しんでいただくことが目的であり、主役は会員の皆様です。ご意見、ご要望、新しい行事のアイデアなど、どしどし役員経由もしくは事務局へ提案していただき、10周年記念行事およびバス旅行鍋っこ遠足等に反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

また一方でコロナ禍は当面まだまだ続くものと予想されます。行政側からは、行動規制はせずインフルエンザ並みの医療対応とする方針などの噂が流れ、コロナが収束方向に向いていると錯覚するような報道がなされております。



私の主治医が申すには「それは錯覚です。安心してもいいということでは決してない。むしろ今以上に感染対策を万全にして、自己管理をしっかりやれということですよ」ただ巣ごもり生活を長く続けることでコロナ感染と同じくらい怖いのは、毎日ボーっと暮らしていることで「筋肉を使わない」「脳を使わない」ことによる老化のスピードアップだそうです。「先生それではどうすればいいのですか」と聞いたところ「毎日筋肉を使う運動を1つ以上」「毎日脳を使うことを1つ以上」続けなさいとの教え。「毎日ですか」「毎日だよ、あたりまえでしょう」「叱られながらも、以来私は先生の教えを実践中です。脳トレはテレビのクイズ番組1つと囲碁、筋肉運動はビナスポでプールやジムなど。もちろんマスク、検温、手洗い、3密回避、フェイスガード使用など対策が大変ですがやむをえません。

会員の皆様におかれましては巣ごもりから一歩抜け出し、あるいは巣ごもりしつつも、安全対策をしっかりと意識して心身ともに動かす活動をみつけ、老化のスピードダウンを目指そうではありませんか。

そして来春の総会では、お互いに元気な顔、姿でお会い出来ませうよう祈念しております。



秋田県人会の活動

多くの事業が中止の事態に

昨年度は事業計画としていくつかの活動を企画したものの、主に新型コロナウイルスの感染拡大による理由で実施できませんでしたが、今年度も厳しい状況ではあります。来年度は予定通り実施できるように、諸般の問題を乗り越えて実現させたいと願っています。

①「会員親睦バス旅行」中止

例年6月に続けてきたバス旅行は、バス内や昼食など3密が避けられないことからやむなく中止いたしました。

②「市民まつり」には不参加

例年は夏に開催され、当県人會では冷やし甘酒販売や会員募集などを行ってきた「えびな市民まつり」。昨年は11月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策ということでイベント自体が中止となりました。

③なべっこ遠足(きりたんぼ会)

中止

昨年10月に予定していた「なべっこ遠足」は、飲食を伴う大人数の集まりを避ける観点から実施しないこととなりました。

④「役員会」は実施

行事の開催に向けて方法を模索したり、会の運営について話し合いをしております。